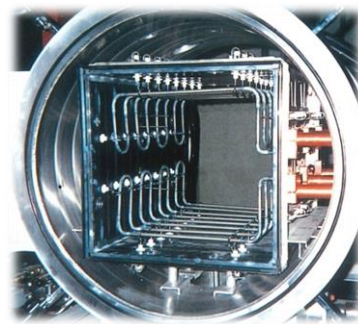


メタルホットゾーン高温真空炉 (ロウ付・焼結等)



FEATURES

- 真空2200°C、H2雰囲気1800°Cの条件下で安定した運転ができる
- ホットゾーンの変形、消耗対策設計によるメンテナンスコストの低減
- 均一な温度分布、均一加熱
- プログラムによる全自動運転
- 加湿雰囲気にも対応可能



内蔵

主なオプション

従来、非酸化物系のファインセラミックスの焼成は、高温で行なわれるため、グラファイト製ホットゾーンの炉が主流でした。最近、その機能改善のため、ファインセラミックスの純度が主目され、焼成時のカーボンによる汚染が問題となって来ましたが、メタルホットゾーンを用いる事により、この問題を一举に解決しました。1800°C以上の真空、水素ガスあるいは不活性ガスの雰囲気中で信頼性のある操作が行え、高品質の焼成を得る事が出来ます。

モデル	処理量グロスkg	有効寸法(mm)			最高仕様温度
		W	L	H	
40	40	200	500	200	H2 : 1800°C 真空 : 2200°C
50	50	300	300	300	
100	100~400	300	600	300	

(注) 1650°C以下のメタルホットゾーン炉は、1800°C以上のメタルホットゾーン炉の技術と経験を活かした高信頼性の構造とシステムになっています。処理量、有効加熱寸法など、各機種によりニーズにお応えしています。